

要 旨

試験委託者

環境省

表 題

p-Phenylenediamine のオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する急性遊泳阻害試験

試験番号

第13052号

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 202「ミジンコ類、急性遊泳阻害試験及び繁殖試験」(1984年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質：p-Phenylenediamine
- 2) 暴露方式：半止水式(24時間後全量換水)
- 3) 試験生物：オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間：48時間
- 5) 試験濃度(設定値)：
対照区, 0.22, 0.32, 0.46, 0.68, 1.0, 1.5及び2.2 mg/l
公比；1.5
- 6) 試験生物数：20頭/試験区(5頭4連)
- 7) 試験水量：100 ml/1連
- 8) 試験水温：20±1℃
- 9) 照 明：16時間明期
- 10) 給 餌：無給餌
- 11) 希 釈 水：水道水(茨城県つくば市)を脱塩素したもの
- 12) 試験水の pH：pHの調整は行わない
- 13) 分 析 法：高速液体クロマトグラフ法

結 果

1) 試験水中の被験物質濃度

被験物質濃度が設定値の±20%を超えたため、各影響濃度の算出には実測濃度を採用した。

2) 24時間暴露後の結果

50%遊泳阻害濃度(EiC₅₀) : 0.58 mg/l(95%信頼限界:0.52~0.65 mg/l, Probit法)

最大無作用濃度(NOECi) : 0.26 mg/l

100%阻害最低濃度 : 1.2 mg/l

3) 48時間暴露後の結果

50%遊泳阻害濃度(EiC₅₀) : 0.33 mg/l(95%信頼限界:0.29~0.37 mg/l, Probit法)

最大無作用濃度(NOECi) : 0.12 mg/l

100%阻害最低濃度 : 0.54 mg/l